

令和元年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業N.o.	2-	5
事業名	コミュニケーションバス事業費	会計	款	項
		一般	2	1 12
施 策	1 安全・安心なまち	課名	政策課	
	1-2 町民参画のまちをつくる	係名	政策係	
	1-2-2 協働によるまちづくりの推進			
主要施策	④公共交通機関の充実			

(1) 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	通学者と高齢者、障がい者等の交通弱者	目的（対象がどのような状態になっているか）	通学者と高齢者、障がい者等の交通弱者が公共交通としてのオレンジバスを利用して、移動ができている。
事業内容		<ul style="list-style-type: none"> ・オレンジバス3台による運行委託 ・地域公共交通会議によるルート・ダイヤの検討 ・バスロケーションシステムによる利便性の確保と利用者データの把握 		

(2) 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標		指標名	平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位	目標方向	令和2年度（目標）
			1 バス利用者数	101,157	103,619	95,150	人	→
2	◆公共交通機関（三輪軽車、路線バス、コミュニケーションバス）の便利さについての調査結果	次回アンケート調査で把握	次回アンケート調査で把握	23.4 (H27 29.3)	%	↑		
3								
4								
5								
			平成30年度（決算）		令和元年度（決算）		令和2年度（予算）	
全体事業費（千円） A+B			77,637		73,451		91,692	
財源 内訳	直接事業費A		71,037		66,191		84,432	
	うち一般財源		58,845		51,810		66,639	
人件費（千円）B			6,600		7,260		7,260	
内訳	一般職員（人・千円）		1	6600	1.1	7260	1.1	7260
	臨時職員（人・千円）		0	0	0	0	0	0

(3) 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	A達成できた
		町閑与の必要性	A町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適切である
総合評価	III 要改善（事業は継続するが、更なる改善が必要）					

(2) 事務事業の業務改善について

①R1年度の改善計画	オレンジバス3台のうちの2台を更新し、残りの1台について方向性を定める。	③取組の課題	バスの更新後、運賃の適正化とバスルートの最適化を進める。
②R1年度に実施した取り組み	オレンジバスの2台を更新し、残りの1台についても利用状況から先の2台と同様に更新することとした。	④今後の改善計画	令和2年度中に地域公共交通計画の策定を行う。